

事例 13 「遊々の森」を活用した森林環境教育の推進

(東北森林管理局 庄内森林管理署・朝日庄内森林生態系保全センター)



- ・山形県酒田市 新林国有林
- ・(左) 森林環境教育の様子(令和5(2023)年6月)
- (右) きのこの駒打ち体験の様子(令和5(2023)年4月)

庄内森林管理署では、山形県酒田市にある西荒瀬保育園に隣接した新林国有林において、平成22(2010)年に国有林名にちなんだ「しんちゃんしんばやしの森」という名称で、同園と遊々の森協定を締結しました。「しんちゃんしんばやしの森」では、同署と朝日庄内森林生態系保全センターが連携して、毎年園児を対象にした森林体験活動の実施を支援しています。

令和5(2023)年度は、下刈りをはじめとした森林整備活動やきのこの駒打ち体験、松くい虫に関する学習等の森林環境教育を行いました。

これらの活動以外でも、園児は「先生、しんちゃんしんばやしの森に行ってくる」などと年間を通して遊びに行っており、森林や自然への関心を高めています。

今後も、森林環境教育や体験活動への支援を継続し、子どもたちの森林や自然環境に対する理解や関心が深まるよう努めていきます。